

シリーズ累計62万部突破！

2019年4月3日

『スマホを落としただけなのに』

続編映画 制作決定！

前作に続き、千葉雄大・成田凌が出演！

作家デビュー2年で、2作の映画化が決定！元ラジオディレクターが描くミステリー！

ファッショング雑誌販売部数トップシェア（※1）の株式会社宝島社（本社：東京都千代田区、代表取締役社長：蓮見清一）より、2018年11月6日に『このミステリーがすごい！』大賞シリーズから発売した宝島社文庫『スマホを落としただけなのに 囚われの殺人鬼』が、このたび映画化され2020年に公開されることが決定しました。

本映画は、2018年11月に公開され興行収入19.6億円、興行収入ランキングで邦画実写作品として4週連続1位（※2）と大ヒットした映画「スマホを落としただけなのに」の第2弾です。

主演を務めるのは前作で刑事・加賀谷を演じた千葉雄大。解決したはずの連續殺人事件、その現場から新たに発見された死体の真相を探るため、加賀谷は彼が逮捕した獄中の連續殺人鬼・浦野と再び対峙することに。浦野を演じるのは、前作での怪演が話題を呼んだ成田凌。メガホンを取るのは前作に引き続き中田秀夫監督。些細なことで日常が崩れていくネット社会の恐怖に加え、続編では警察組織を巻き込んだサイバー犯罪が前作以上のスケールで描かれます。

原作は、宝島社が主催するミステリー＆エンターテインメントの新人賞、第15回『このミステリーがすごい！』大賞への応募作品の中から「隠し玉」として刊行し、作家デビューを果たした志駕晃氏の作品です。デビュー作『スマホを落としただけなのに』は、デビュー作では異例の発売から2カ月で10万部を突破し、映像化のオファーが殺到するなど、今注目の作家です。

志駕氏は、第1弾『スマホを落としただけなのに』刊行当時、ニッポン放送にエンターテインメント開発局長として勤務しており、これまでにディレクターとして「オールナイトニッポン」など様々なラジオ番組を手がけてきました。現在は、ニッポン放送の関連会社に勤務し、作家業と兼務しています。取材も可能ですのでお気軽に問い合わせいただけますと幸いです。

宝島社では企業理念である「人と社会を楽しく元気に」のもと、今後もお客様に喜ばれる良質なコンテンツを企画・提供し、様々な業界の活性化に寄与していきたいと考えております。

※1:日本ABC協会 雑誌発行社レポート2018年上半期（1～6月）より

※2:興行通信社調べ

第2弾



シリーズ累計62万部突破！

2020年 映画公開！

出演

千葉雄大、成田凌

宝島社文庫

『スマホを落としただけなのに
囚われの殺人鬼』

- 発売日：2018年11月6日
- 定価：本体650円+税

第1弾



2018年

主演、北川景子で映画公開！

宝島社文庫

『スマホを落としただけなのに』

- 発売日：2017年4月6日
- 定価：本体650円+税

【「スマホを落としただけなのに 囚われの殺人鬼」あらすじ】

神奈川県警生活安全サイバー犯罪対策課の桐野良一は、あるPCの中から、死体で見つかった女の情報を探っていた。そのPCは世間を震撼させた「丹沢山中連續殺人事件」の犯人のものだった。犯人は、桐野にある取引を持ちかける——。その頃、巨額の仮想通貨流出事件が発生。セキュリティ会社で働く桐野の恋人・美乃里のもとに、ハッカーらしき男からコンタクトがあり……。

■『このミステリーがすごい！』大賞とは？

ミステリー＆エンターテインメントブックガイド『このミステリーがすごい！』を発行する宝島社が、新時代の新しいミステリー＆エンターテインメント作家・作品の発掘・育成を目的に、2002年に創設した新人賞。大賞賞金は文学賞最高額である1200万円。受賞作はすべて書籍化。第153回直木賞を受賞した東山彰良氏や、累計1000万部突破の「チーム・バチスタの栄光」シリーズの海堂尊氏などの作家を輩出している。また、『このミステリーがすごい！』大賞における「隠し玉」とは、受賞には及ばなかったものの、ベストセラーになる可能性を秘めているものを発掘し刊行しているシリーズで、『珈琲店タレーランの事件簿』は、シリーズ累計227万部を突破しベストセラーとなるなど、話題作を生み出している。

原作者、千葉雄大、成田凌、監督からのコメントを紹介！

■原作者:志駕晃(しが・あきら)氏コメント

「スマホを落としただけなのに」の続編の映画化が決まったと聞きまして、大変嬉しく思っています。この作品は当初続編を書く構想はなく、また絶対に書けないだろうと思っていたのですが、第1弾の映画撮影中に千葉雄大さんと成田凌さんにお会いして、この二人でストーリーを構築するとどうなるだろうと発想してできました。書いている最中に起こった時事事件を取り入れ、舞台となる神奈川県警を取材するうちにアイデアが膨らみ、スピード感のあるサイバー小説に仕上がったと自負しています。この原作を映画スタッフの方々がどう映像化してくれるか、今から本当に楽しみです。

志駕晃(しが・あきら)プロフィール

1963年生まれ。神奈川県横浜市在住。明治大学商学部卒業。ニッポン放送入社後、様々なラジオ番組制作に関わる。担当番組は「ウッチャンナンチャンのオールナイトニッポン」「ドリアン助川の正義のラジオ」「ジャンベルジャン」「中居正広のSome girl'SMAP」など多数。第15回『このミステリーがすごい！』大賞「隠し玉」として『スマホを落としただけなのに』でデビュー。他にも『ちょっと一杯のはずだったのに』『スマホを落としただけなのに 囚われの殺人鬼』を刊行。最新作は、角川文庫『あなたもスマホに殺される』を2月23日に発売。

■加賀谷学(かがや・まなぶ)役 千葉雄大(ちば・ゆうだい)氏 コメント

監督はじめスタッフの皆さんに、もう一度お会いできるのがすごく楽しみです。1作目の感想は僕もたくさんいただったので、続編が決まって嬉しく思っております。この作品は、成田くん無しでは成立しないので、また共演できることも大変嬉しいです。ありがたいことに1作目では顔が似ていると言われることが多かったのですが、2作目では一緒にシーンもたくさんあるので、お客様を混乱させないようにしたいと思います(笑)。当たり前のことですが、やらせていただく限りは精一杯素敵なお手本になるよう力を注ぎたいと思います。この作品が伝えたいことは何なのか。その軸をしっかりと持ちつつ、加賀谷を演じたいです。第1作目では、事件を追う刑事という役柄でしたが、今回はそのパーソナルな部分が深掘りされると思うので、第1作目を観てくださった方にも楽しんでいただける作品になれば、と思います。もちろん観ていない方にも楽しんでいただける内容にもなっており(笑)。といった感じで全方位全網羅して参りますので、よろしくお願い致します！

■浦野善治(うらの・よしはる)役 成田凌(なりた・りょう)氏 コメント

2. わくわくします。
まさか、2を。そして、自分がそれに出るとは。
前作、全てを出し切った「スマホを落としただけなのに」を沢山の方にみていただいたという事でとても嬉しく思います。また皆様にゾクゾクしてもらえるよう、チーム一丸となり良い作品を作れるよう頑張ります！

■監督:中田秀夫(なかた・ひでお)氏 コメント

『スマホを落としただけなのに』を大勢の方に楽しんでいただき、とても光栄に思います。前作のラストでは、フィジカルにも心理的にも対決した千葉さん、成田さんですが、彼等には強固な共通点があり、どうしようもなく惹きつけ合う点もありました。続編ではこの二人の「奇妙なタッグ」を軸に物語が展開します。お二人に俳優としての個性と感覚をぶつけ合ってもらい、さらなる高みを目指したエンタテイメントを作り上げたいと思います。

【監督:中田秀夫(なかた・ひでお)】

1961年7月19日生まれ。

代表作:『リング』(1998)、『クロユリ団地』(2013)、『スマホを落としただけなのに』(2018)、『貞子』(2019)

【作品概要】

タイトル:『スマホを落としただけなのに2(仮)』

出 演:千葉雄大 成田凌

企画プロデュース:平野隆 監督:中田秀夫 脚本:大石哲也 制作プロダクション:ツインズジャパン

公開時期:2020年公開 配給:東宝

2020年 全国東宝系公開